



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社

コード番号 7287

URL <http://www.nippon-seiki.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)高田 博俊

問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部経理部

(氏名)渡辺 桂三

(TEL) 0258(24)3311

執行役員

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	109,947	6.3	9,531	29.5	12,231	17.7	7,389	19.8
26年3月期第2四半期	103,430	11.1	7,357	26.1	10,393	107.8	6,167	118.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 11,834百万円(△13.7%) 26年3月期第2四半期 13,721百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	129.01	128.88
26年3月期第2四半期	107.65	107.57

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	274,416	149,784	51.4
26年3月期	263,132	139,256	49.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 141,006百万円 26年3月期 130,493百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	△0.1	14,800	△18.8	21,000	△8.8	13,000	△6.5	226.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	60,907,599株	26年3月期	60,907,599株
27年3月期2Q	3,632,237株	26年3月期	3,629,886株
27年3月期2Q	57,276,816株	26年3月期2Q	57,287,025株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年11月27日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、日本国内は消費税増税前の駆け込み需要の反動減、タイでは政情不安による内需の減少と、弱い部分が見られましたが、欧州では落ち込みの大きかった昨年度から持ち直しの兆しが見え始め、米国の景気回復基調の継続に支えられたこともあり、総じて堅調に推移しました。

このような状況において、当社グループは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる企業体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」（コスト・技術・物流・サービス）の強化と同時に、営業・設計・経営管理など、あらゆる面でのグローバル化を目指し、変化に柔軟かつ迅速に対応できるよう「経営のグローバル化」を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、109,947百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は、9,531百万円（前年同期比29.5%増）、経常利益は、12,231百万円（前年同期比17.7%増）、四半期純利益は、7,389百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、四輪車用計器、汎用計器が増加し、売上高85,106百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益8,252百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

民生機器事業は、OA・情報機器操作パネル、空調・住設機器コントローラーの増加により、売上高6,743百万円（前年同期比5.0%増）、営業損失274百万円（前年同期は802百万円の営業損失）となりました。

自動車販売事業は、消費税増税の影響等により、新車販売等が減少し、売上高9,914百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益122百万円（前年同期比66.4%減）となりました。

その他は、樹脂材料の加工・販売、ソフトウェアの開発・販売、OA機器販売が増加し、売上高8,182百万円（前年同期比7.2%増）となりましたが、営業利益は857百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,283百万円増加し、274,416百万円となりました。これは流動資産で受取手形及び売掛金が3,055百万円減少しましたが、現金及び預金が12,403百万円、たな卸資産が1,094百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ756百万円増加し、124,632百万円となりました。これは流動負債で支払手形及び買掛金が1,931百万円、長期借入金が1,829百万円減少しましたが、短期借入金が4,630百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10,527百万円増加し、149,784百万円となりました。これは利益剰余金が6,456百万円、為替換算調整勘定が3,301百万円増加したこと等によります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物が前連結会計年度末に比べ54,347百万円減少し、44,465百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少等がありましたが、税金等調整前四半期純利益12,132百万円の計上等により、11,957百万円の収入超過（前年同期は4,266百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5,583百万円、定期預金の純増減額が62,311百万円の減少となったこと等により、68,519百万円の支出超過（前年同期は8,502百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額が4,805百万円の増加となったこと等により、1,562百万円の収入超過（前年同期は5,494百万円の収入超過）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業況等を勘案し、平成26年5月15日発表の業績予想を修正しております。

詳しくは、本日（平成26年11月6日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が83百万円減少し、利益剰余金が54百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	99,319	111,723
受取手形及び売掛金	40,809	37,753
有価証券	-	300
商品及び製品	11,826	13,083
仕掛品	4,355	4,793
原材料及び貯蔵品	17,236	16,635
その他	10,468	9,621
貸倒引当金	△243	△218
流動資産合計	183,772	193,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,745	15,092
機械装置及び運搬具（純額）	13,625	13,085
工具、器具及び備品（純額）	4,330	4,916
土地	15,473	15,905
リース資産（純額）	480	435
建設仮勘定	2,976	2,187
有形固定資産合計	50,632	51,621
無形固定資産		
のれん	241	164
その他	3,439	3,317
無形固定資産合計	3,680	3,482
投資その他の資産		
投資有価証券	21,143	21,966
その他	3,914	3,663
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	25,048	25,620
固定資産合計	79,360	80,724
資産合計	263,132	274,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,412	28,481
短期借入金	54,611	59,241
未払法人税等	2,197	2,840
賞与引当金	1,902	2,392
役員賞与引当金	-	113
製品補償損失引当金	549	546
受注損失引当金	0	-
訴訟損失引当金	1,350	846
その他	13,187	12,081
流動負債合計	104,212	106,544
固定負債		
長期借入金	13,097	11,267
役員退職慰労引当金	186	187
退職給付に係る負債	2,710	2,641
資産除去債務	59	58
その他	3,610	3,932
固定負債合計	19,663	18,088
負債合計	123,875	124,632
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,479	6,476
利益剰余金	100,573	107,029
自己株式	△6,283	△6,288
株主資本合計	115,263	121,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,811	5,567
為替換算調整勘定	10,518	13,820
退職給付に係る調整累計額	△100	△92
その他の包括利益累計額合計	15,229	19,295
新株予約権	47	54
少数株主持分	8,716	8,722
純資産合計	139,256	149,784
負債純資産合計	263,132	274,416



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	103,430	109,947
売上原価	82,890	87,097
売上総利益	20,540	22,850
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,471	2,608
従業員給料	4,168	4,724
貸倒引当金繰入額	14	1
賞与引当金繰入額	607	610
役員賞与引当金繰入額	94	104
製品補償損失引当金繰入額	4	9
退職給付引当金繰入額	37	-
退職給付費用	-	208
役員退職慰労引当金繰入額	19	18
その他	5,765	5,032
販売費及び一般管理費合計	13,183	13,319
営業利益	7,357	9,531
営業外収益		
受取利息	507	495
受取配当金	157	182
為替差益	2,260	2,050
その他	350	211
営業外収益合計	3,276	2,938
営業外費用		
支払利息	182	162
その他	57	76
営業外費用合計	240	238
経常利益	10,393	12,231
特別利益		
固定資産売却益	31	6
特別利益合計	31	6
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	13	20
減損損失	-	84
投資有価証券評価損	-	0
特別損失合計	18	106
税金等調整前四半期純利益	10,406	12,132
法人税、住民税及び事業税	3,242	3,939
法人税等調整額	336	146
法人税等合計	3,578	4,086
少数株主損益調整前四半期純利益	6,827	8,046
少数株主利益	660	656
四半期純利益	6,167	7,389

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,827	8,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	560	755
為替換算調整勘定	6,333	3,022
退職給付に係る調整額	-	9
その他の包括利益合計	6,894	3,788
四半期包括利益	13,721	11,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,230	11,454
少数株主に係る四半期包括利益	1,490	379

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,406	12,132
減価償却費	3,286	3,777
減損損失	-	84
のれん償却額	89	75
株式報酬費用	10	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	558	491
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	102	113
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△17
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	△52	△2
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	-	50
受注損失引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	42
受取利息及び受取配当金	△664	△677
支払利息	182	162
為替差損益(△は益)	172	△1,306
有形固定資産売却益	△31	△6
有形固定資産処分損	18	20
無形固定資産除却損	-	0
投資有価証券評価損益(△は益)	-	0
売上債権の増減額(△は増加)	5,433	3,065
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3	△1,103
その他の資産の増減額(△は増加)	△638	313
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,245	△2,215
その他の負債の増減額(△は減少)	△923	258
小計	8,706	15,269
利息及び配当金の受取額	663	671
利息の支払額	△184	△162
損害賠償金の支払額	-	△544
法人税等の支払額	△4,919	△3,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,266	11,957
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△2,125	△62,311
有形固定資産の取得による支出	△3,892	△5,583
有形固定資産の売却による収入	181	34
有形固定資産の除却による支出	△0	△0
無形固定資産、投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△926	△399
投資有価証券の取得による支出	△1,104	△25
貸付けによる支出	△727	△252
貸付金の回収による収入	90	11
その他	-	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,502	△68,519

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,717	4,805
長期借入れによる収入	306	-
長期借入金の返済による支出	△500	△1,775
リース債務の返済による支出	△117	△102
自己株式の純増減額 (△は増加)	△4	△20
配当金の支払額	△743	△971
少数株主への配当金の支払額	△163	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,494	1,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,641	567
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,899	△54,431
現金及び現金同等物の期首残高	29,679	98,813
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	927	83
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,505	44,465

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	79,062	6,421	10,315	95,799	7,631	103,430	—	103,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	19	19	6,844	6,863	△6,863	—
計	79,062	6,421	10,335	95,818	14,475	110,294	△6,863	103,430
セグメント利益又は損失(△)	6,535	△802	364	6,096	1,099	7,196	161	7,357

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額161百万円は、セグメント間取引消去であります。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	85,106	6,743	9,914	101,764	8,182	109,947	—	109,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	30	30	6,379	6,409	△6,409	—
計	85,106	6,743	9,945	101,794	14,562	116,357	△6,409	109,947
セグメント利益又は損失(△)	8,252	△274	122	8,100	857	8,958	573	9,531

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額573百万円は、セグメント間取引消去であります。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。